

受検 番号	
----------	--

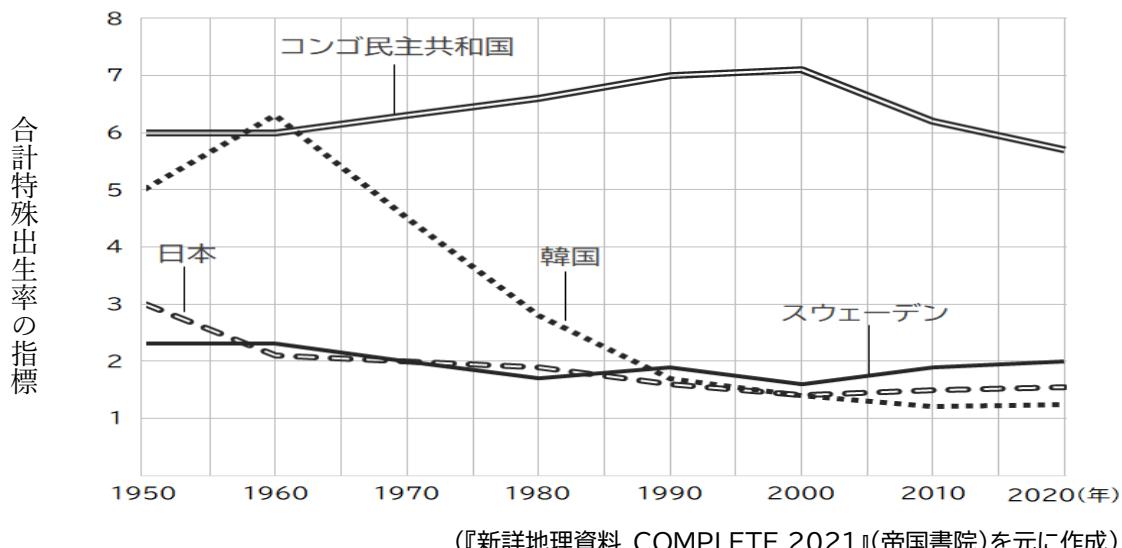
- 2 イチロウさんとマユミさんは、図4と図5を見ながら世界の人口に関して次のような会話をした。各問い合わせに答えなさい。

イチロウ：a 図4の先進国では、*合計特殊出生率がその国的人口規模を維持するための水準である約2.1を下まわっているよね。
 マユミ： 人口減少に直面している様子がみえてくるわね。
 イチロウ： 図5をみると、日本や韓国は30歳代の母親世代が働いている割合がスウェーデンと比べて低いよね。
 マユミ： 図5の曲線の形をみると、日本や韓国はいわゆる「M字型」、スウェーデンはいわゆる「アーチ型」となっているのも気になるわね。どうして日本は「M字型」なのかな。
 イチロウ： そういうえば、b 「M字型」から「アーチ型」に転換していくことで、その国的人口が維持できるという話を聞いたことがあるよ。
 マユミ： そうなんだ。日本が将来、人口を維持していくためのヒントがありそうね。

*（注）合計特殊出生率：1人の女性が生涯に何人の子供を生むかを示す数値

図4

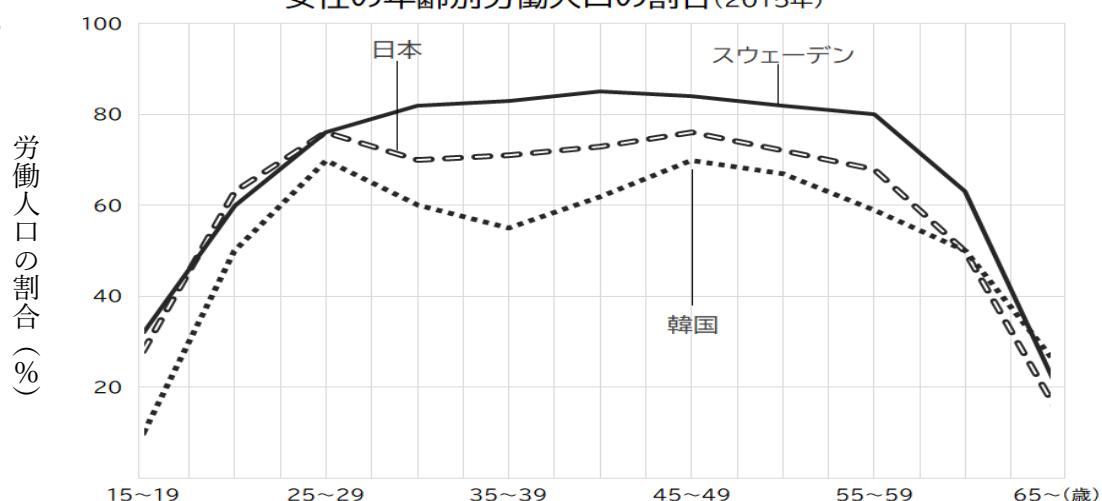
合計特殊出生率の推移



(『新詳地理資料 COMPLETE 2021』(帝国書院)を元に作成)

図5

女性の年齢別労働人口の割合(2015年)



(『新詳地理資料 COMPLETE 2021』(帝国書院)を元に作成)

※のついた欄は記入しないこと

1

問1 下線部 a の理由としてあなたが考えたことを、60字以上80字以内で書きなさい。

解答欄

問2 In *figure 4, which country had the highest *total fertility rate in 2000? Answer in Japanese.

* (注) figure 4 図 4 total fertility rate 合計特殊出生率

解答欄

ANSWER

問3 下線部 b について、日本が「M字型」から「アーチ型」に転換していくためにはどのような取り組みが必要か、あなたの考えを60字以上80字以内で述べなさい。

解答欄